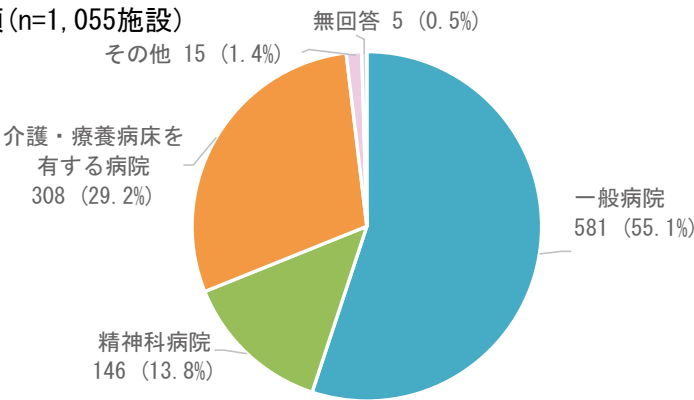


「一般・療養病棟における非侵襲的陽圧換気 (NPPV) 及び気管切開下陽圧換気 (TPPV) に係る死亡事例の分析」に関するアンケート集計結果

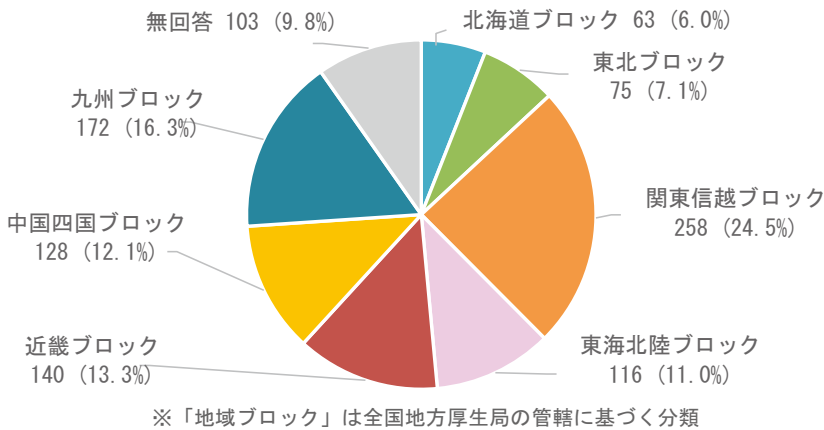
調査期間：2019年6月13日～8月31日
調査対象：全国の病院 8,340施設
有効回答数：1,055 割合 12.6%

施設について

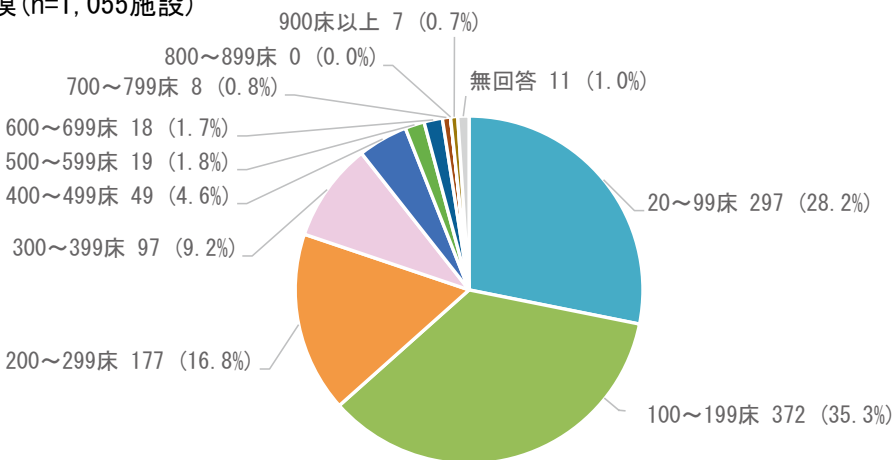
■医療機関の種類 (n=1,055施設)



■施設が所在する地域ブロック※ (n=1,055施設)

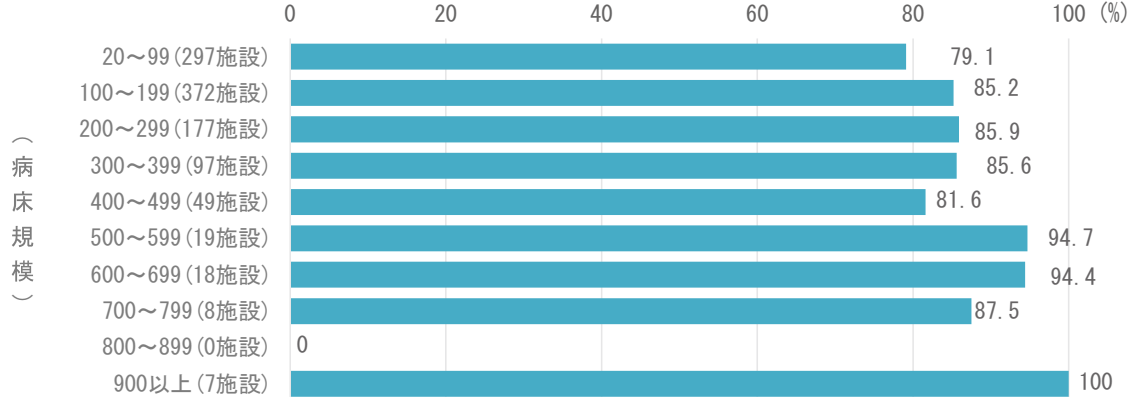


■病床規模 (n=1,055施設)



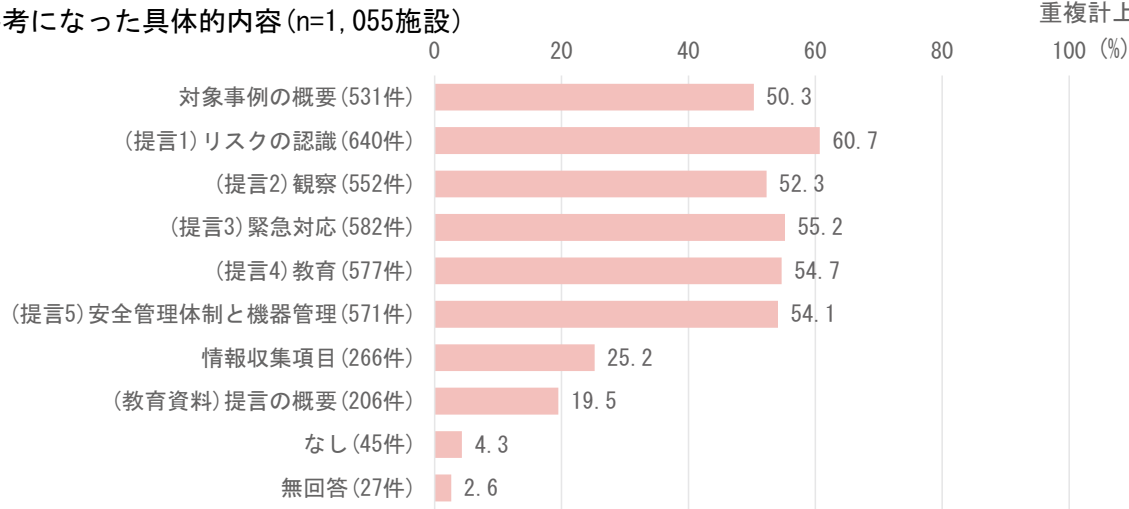
有用性

参考になったと回答した病床規模別の割合 (n=1,044施設※)



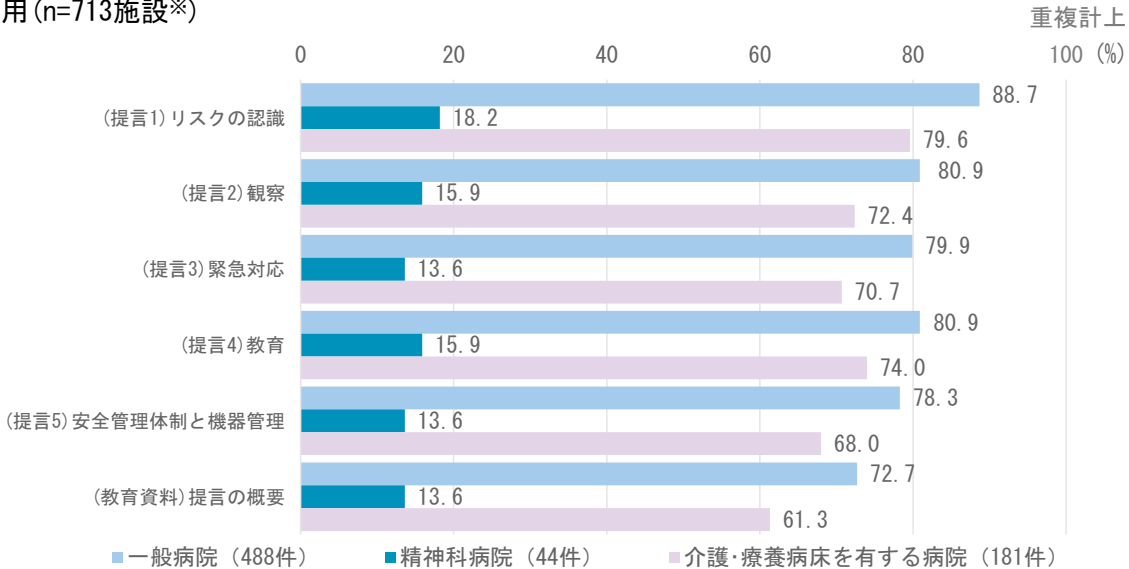
※病床規模が「無回答」であった11施設を除いて集計した。

参考になった具体的内容 (n=1,055施設)



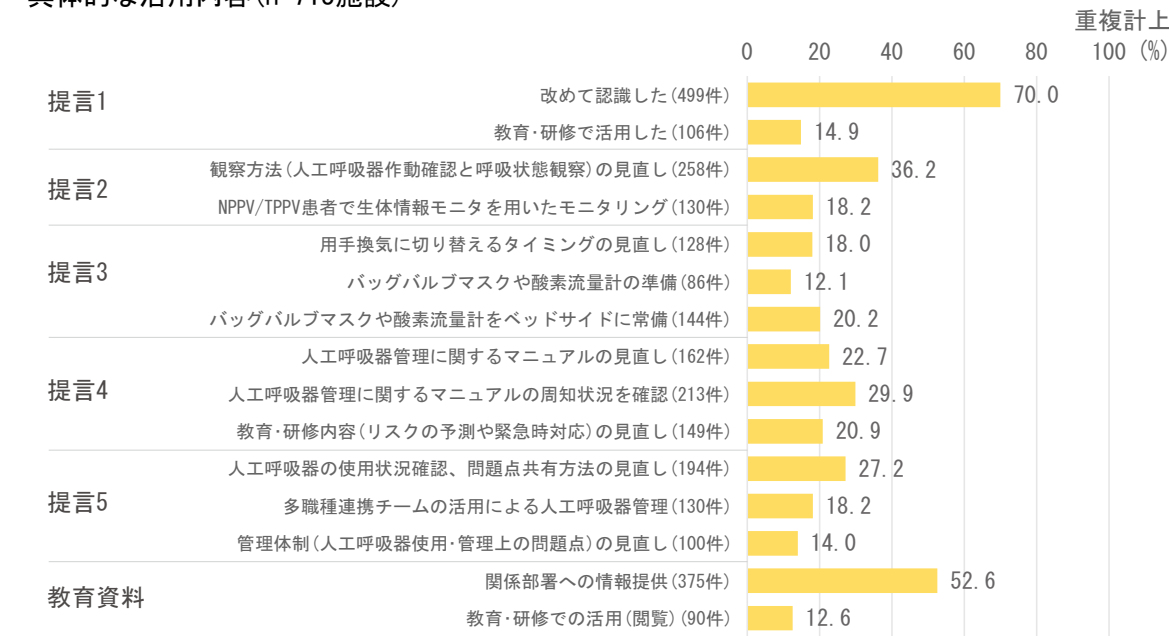
活用状況

人工呼吸器管理をしている一般病院・精神科病院・介護・療養病床を有する病院における活用 (n=713施設※)



※医療機関の種類が「その他」「無回答」であった20施設を除いて集計した。

■人工呼吸器管理をしている一般病院・精神科病院・介護・療養病床を有する病院における具体的な活用内容 (n=713施設)



■自由記載のまとめ

提言1	○医師による研修が行われた。 ○呼吸器チームに教育を依頼した。 ○呼吸器疾患・神経難病患者が多いため、当該病棟、医局、臨床工学技士に配布し注意喚起した。
提言2	○チェックリストを参考にした。 ○パルスオキシメータの使用は必須としている。
提言3	○患者の状態から用手換気に切り替える実際の対応に関する教育が必要である。 ○関係部署にバッグバルブマスク、酸素流量計が準備されていることを確認した。 ○救急カートにすべて置いており、急変時はすぐ使用できるようにしている。
提言4	○委員会でマニュアルの見直しを検討している。 ○臨床工学技士と共有しながら見直している。 ○病院の規模というより、リスクを知って対応できるように教育していきたい。 ○呼吸サポートチームの巡回、集中ケア認定看護師と臨床工学技士で指導・教育をしている。
提言5	○呼吸サポートチームに情報提供を行った。 ○多職種連携の必要性を理解した。 ○定期的に臨床工学技士が点検と指導を行っている。医療機器安全管理部会を設置した。
教育資料	○重要事項を院内の医療安全ニュースに掲載し周知した。 ○今後、研修で活用する予定。

要望のまとめ

提言書に対して	○提言書があると職員に周知しやすい。 ○今後もいろいろな情報を教えてほしい。
センターに対して	○1冊に対し時間をかけて課題を抽出し検討しているため、2冊送付されると作業が追い付かない。 ○アンケート内容に「対策している」欄を追加してほしい。
学会・企業等へ	○接続外れに対するデバイスの工夫を検討してほしい。